

平成29年度 公益社団法人埼玉県精神保健福祉協会会長表彰 被表彰者

【個人】8名

<医療機関職員等永年勤続表彰>

氏名	所属	従事年数	年齢	推薦理由	
いしかわ 石川 まさえ 昌恵	医療法人大社会 久喜すずのき病院 (日本精神科看護 協会埼玉県支部)	看護課 ゼネラルマネ ージャー	通算 24年	55歳	平成16年に日本精神科看護協会埼玉県支部へ入会以来、研修会等の事業への参加や入会について積極的に呼びかけを行ってきた。また、日本精神科看護協会認定精神科看護師の養成も積極的進めている。さらに、当協会主催による埼玉県内施設に対する講師派遣事業に協力しており、認定看護師の派遣や自施設を会場とし他施設の会員にも開放した講師を招いた研修会を企画している。平成25年より副教育委員長として、精神科看護の質の向上を目的とした企画運営に寄与し、その功績は顕著である。
えざわ 恵沢 ゆうこ 祐子	医療法人くすのき 会 南飯能病院	看護課 主任	20年	52歳	平成8年より南飯能病院に勤務。精神障害者とその家族の立場に立って看護を行ってきた。現在、精神科病棟主任として病棟の管理、また看護職員の指導、育成に尽力し、若い看護師等のよき相談相手となっている。その功績は顕著である。
きこた 迫田 あけみ 明美	医療法人社団 松風会 松風荘病院	看護課 主任	20年	52歳	平成8年より松風荘病院に勤務。その間、平成14年8月より病棟主任を歴任し責任ある職務に就いている。患者様に対する献身的な勤務振りに加え、病棟における全般的な看護業務の運営、部下の指導、職場環境の向上にも注力し、顕著な功績があったと認められる。
なかやま 中山 みき 美樹	医療法人社団 松風会 松風荘病院	嘱託 正看護師	20年	60歳	平成8年より松風荘病院に勤務。その間、平成15年9月より病棟主任を歴任し責任ある職務に就いている。患者様に対する献身的な勤務振りに加え、病棟内の看護の質の向上のために、問題の提起・改善を図り、部下の指導にも注力しており、顕著な功績があったと認められる。
おおかわら 大河原 ともみ 智美	医療法人社団 松風会 松風荘病院	栄養課 主任補助	20年	52歳	平成8年より、松風荘病院の栄養課の調理業務を行い、長期の患者様にも飽きのこない、毎日楽しみにできる食事を提供している。平成11年には調理師の資格を取得し、調理技術の他、栄養面や衛生面、食中毒の知識、適切な調理法など調理に関する幅広い知識から患者様の健康管理に貢献しており、永年の功績があったものと認められる。

<地域精神保健福祉推進者功労表彰>

氏名	所属	従事年数	年齢	推薦理由	
いづか 飯塚 すみ 美	埼玉県精神障害者 家族会連合会	会長	22年	72歳	息子の発症を期に50歳からもくせい家族会に参加。以来、2つ目の作業所を開設し、その小規模法人化も果たした。精神障害者の安定した社会参加の場を開拓したり、さまざまな活動に参画しては、それらの団体の役職を務め、福祉策の向上に努めてきた。全社協の“地域福祉権利擁護に関する検討委員会”や“障害者の地域生活の推進に関する検討会”にも参加して、家族の体験に基づく支援策を訴え、アウトリーチによる医療と福祉が連携した支援策の充実を提言した。現在、内閣府障害者政策委員として、権利条約を見据えた第4次障害者基本計画にも、意見の具申に努めている。よって、その功績は顕著である。

氏名	所属		従事年数	年齢	推薦理由
きくち けいこ 菊地 桂子	公益社団法人 埼玉県断酒新生会	いづみ会 元会長	32年	81歳	平成13・14年度の2ヶ年度にわたり『いづみ会』会長の職を勤めた。また、入会以降長年にわたり地域例会への出席、市民公開セミナーの開催にあたり、家族会員・一般市民の参加の呼びかけに尽力し、行事の盛会に貢献した。また、本人の三郷断酒会会長等への任務遂行に家族としても努力してきており、その功績は極めて顕著なものである。
ごとう ともこ 後藤 トモ子	公益社団法人 埼玉県断酒新生会	いづみ会 元会長	24年	71歳	平成15・16年度の2ヶ年度にわたり『いづみ会』会長の職を勤めた。また、入会以降長年にわたり地域例会への出席、レクリエーションを通じた親睦行事や講演会・市民公開セミナー等に積極的に参加するとともに、新規加入者の定着への助言に努めてきた。また、本人の朝霞断酒会会長、当会理事としての任務遂行に家族としても努力してきており、その功績は極めて顕著なものである。

【団体】2団体

<地域精神保健福祉推進団体功労表彰>

団体	代表者	所在地	推薦理由等
狭山こぶしの会	神田 芳夫	狭山市	昭和55年に狭山・入間・所沢の3市の家族が「こぶしの会」を立ち上げ、59年には、作業所「こぶしの家」を開設。平成10年には、3市毎に独立し「狭山こぶしの会」がスタート。現在の会員は50名を超える。平成16年発足の社会福祉法人「こぶし福祉会」の立ち上げには積極的に協力し、現在もこぶし祭りやバザーなどのイベントに協力している。また、狭山市の福祉プラン推進懇談会の委員にも選ばれ、他障害の団体連絡会にも役員を出している。埼玉県精神障害者家族連合会の活動については、電話相談活動や各委員会委員等、積極的に活動しており、その功績は顕著である。
そーかれすと	真壁 キミ子	草加市	平成14年に発足から一貫して精神障害者の家族支援を行っている。現在の会員は13名。毎月2回の例会を行っている。草加市においては、障がい者施策協議会に参画し、また、草加市と地域活動支援センターふらっと共催の精神障害者家族教室へも発足時から毎年協力している。その他、地域の活動にも積極的に参加し、情報収集と情報提供、家族の分かち合いを行っている。また、地域活動支援センターふらっと草加にて、手芸等を通し、当事者支援も行っている。 このように、草加市における精神障害者家族支援及び精神障害者支援を継続的に行ない、また草加市の精神保健福祉事業への協力も継続的に行っており、地域精神保健福祉活動への貢献は非常に大きいものである。